

原発推進に深く関与

関電金品提供問題

元助役 特別な存在感

福井・高浜町 共産党町議振り返る

関西電力経営陣らに少なくとも2011年からの7年間で約3億2千万円相当の金品を提供していた福井県高浜町の森山栄治・元助役（故人）。地元議員は「原発の建設・増設に深くかかわった人物なのは間違いない」と語りま

森山氏は京都府綾部市の職員を経て1989年に高浜町役場に採用されました。その後、収入役などを経て77、87年に助役を務めました。



議会などで接する機会があった日本共産党の渡辺幸町議が振り返ります。

「自分が初当選した79年は、高浜原発3、4号機の増設が問題に

なっていたころ。当時の町長と森山助役が町政を取り仕切っていて、行政に自由なもの

を言える雰囲気は乏しかった。30歳そこそこの自分が2位で当選できたのも、暗い雰囲気

を醸成していたのでは」と町議注の土木工事をめぐり、議会で森山氏に町の責任を追究したこともあったといま

「会議がある日は、課長級以下の職員が3

人ほど玄関に立って森山氏を出迎え、見送りしていた。そんな扱いを受けていたのは彼だけだった」

町教育委員長にも

選任されるなど、退職後も影響力を保ったとみられます。

地元紙報道によると、05年の町村合併50周年の会合で森山氏

は、30人の町政功労者の一人として表彰を受

けました。当時の町長は「過疎化が進んだ

が、原発誘致で難局を開けてきた」とあいさつしたといひます。

原発とのかわりも

続きました。民間調査会社によると、高浜原発を警備する警備会社

の一人として表彰を受

けました。当時の町長は「過疎化が進んだ

が、原発誘致で難局を開けてきた」とあいさつしたといひます。

原発とのかわりも続きました。民間調査会社によると、高浜原発を警備する警備会社

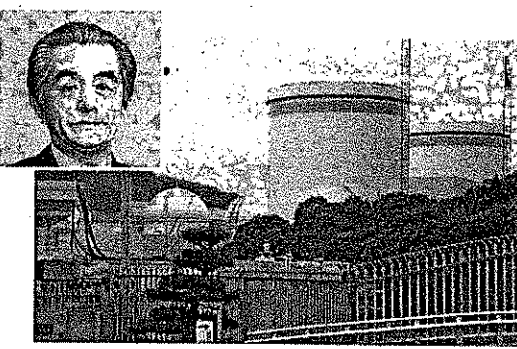
の一人として表彰を受

けました。当時の町長は「過疎化が進んだ

が、原発誘致で難局を開けてきた」とあいさつしたといひます。

原発とのかわりも続きました。民間調査会社によると、高浜原発を警備する警備会社

- 関電高浜原発をめぐる動き**
- 1969年 森山栄治氏、高浜町役場に採用
 - 1974年 高浜原発1号機運転開始
 - 1975年 2号機運転開始
 - 1977年 森山氏が助役に就任
 - 1985年 3、4号機運転開始
 - 1987年 森山氏が助役を退任
 - 1996年 森山氏が法務省入権擁護局長感謝状を受賞
 - 2003年 森山氏が叙勲を受章
 - 2011年 東日本大震災、福島原発事故
 - 2012年 関電の稼働原発がゼロに
 - 2016年 3、4号機が福島事故後初の再稼働
 - 2018年 金沢国税局が建設会社に税務調査
 - 関電が社内調査
 - 2019年 森山氏死去



福井県高浜町の関電高浜原発。手前は1、2号機。顔写真は元助役、森山栄治氏（故人）



岩根茂樹 関西電力社長



八木誠 関西電力会長

長ら経営幹部が、福井県高浜町の元助役（故人）から約3億2000万円相当の金品を受け取っていた問題で、

元助役が原発の担当幹部を中心に金品を提供していたことが28日、分かりました。

金品は八木会長や岩根茂樹社長のほか、原子力事業本部長などを歴任した豊松秀己元副社長ら原子力部門の幹部らを中心に提供されたといひます。

関係者によると、金品を提供していたのは高浜町の森山栄治元助役（今年3月に死亡）で、関電の原発関連工

原発部署幹部中心に金品 元助役

長ら経営幹部が、福井県高浜町の元助役（故人）から約3億2000万円相当の金品を受け取っていた問題で、

元助役が原発の担当幹部を中心に金品を提供していたことが28日、分かりました。

金品は八木会長や岩根茂樹社長のほか、原子力事業本部長などを歴任した豊松秀己元副社長ら原子力部門の幹部らを中心に提供されたといひます。

関係者によると、金品を提供していたのは高浜町の森山栄治元助役（今年3月に死亡）で、関電の原発関連工

地元有力者との癒着構造鮮明

原発立地地域対策

福島第一原発事故が起きた2011年から7年間で役員ら20人に計3億2千万円。関西電力経営陣らが福井県高浜町の元助役から多額の資金を受け取っていた問題。関電が原発再稼働を進める中、地元対策を立地地域の有力者に頼る癒着関係が近年も続いていたことが鮮明になりました。

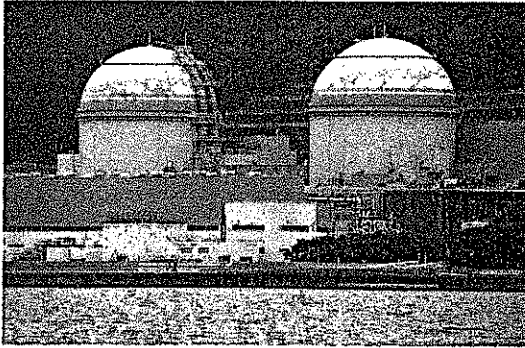
関電役員への資金提供

大阪市で27日に会見した岩根茂樹社長。「儀礼の範囲を超える部分はすでに返却した」と強調しました。しかし誰がどの時期に、いくら受け取ったかなどの核心に触れる質問には表情をゆがめ、「個人にかかわること」として回答を拒みました。

大阪府で27日に会見した岩根茂樹社長。「儀礼の範囲を超える部分はすでに返却した」と強調しました。しかし誰がどの時期に、いくら受け取ったかなどの核心に触れる質問には表情をゆがめ、「個人にかかわること」として回答を拒みました。

関電は高浜原発1、2号機で原則40年の運転を延長し、再稼働を進めるためにも地元対策が欠かせません。同県小浜市在住で原発関連の情報誌を発行

している男性(80)は「地元で森山氏は、国の核燃料税交付金などの原発マネーに関わる人として知られていた」と話します。



関西電力高浜原発。ドーム状屋根左は3号機、右は4号機＝福井県高浜町

原発動かす資格ない

「原子力発電に反対する福井県民会議」共同代表委員 中島哲演さん



「原子力発電に反対する福井県民会議」共同代表委員 中島哲演さん。福島第一原発の事故が起ってなお、原発再稼働をめぐる不透明な「原発マネー」が関西電力経営陣らに還流

を公表しなかった理由を問われると同社長は「(元助役に)対価を与えるような行為はなかった」「不適切だった」「違法な行為はなかった」などと繰り返しました。

「事情を聴く」
経産相 菅原一秀経済産業相は27日の閣議後記者会見で、関西電力の八木誠会長らが高浜原発が立地する福井県高浜町

の元助役(故人)から資金を受け取っていた問題について「事実とすれば言語道断だ」と述べ、経産省として27日中に関電から事情を聴くと明らかにしました。

「安全対策」にかけるべき費用が一部でも還流した可能性もあり、手抜きにつながる重大な恐れもあります。資金提供は、企業論理の喪失にとどまらず、原発の安全対策にも直結する以上、もはや関電に原発を動かす資格はありません。少なくとも高浜1、2号機の対策工事は即刻中止すべきです。